

見晴台自治会 **だより** 2022(令和4)年 12月 通算334号

発行・編集 見晴台自治会事務局 〒067-0042 江別市見晴台 54-5 見晴台自治会館 TEL011-378-9884

第3回自治会館新改築検討委員会開催

第3回新改築検討委員会は、11月15日(土) 10時から自治会館大広間で開催されました。

前回、ふれあい会館を含めた方向性の検討が必要との協議を受け、シルバークラブからも委員の選出を依頼し、事務局長と8名の委員で検討委員会が行われました。



委員会では、第2回委員会の協議事項の再確認の後、会館改築案策定のための参考平面図をもとに、シルバークラブの存廃、トイレの改修、全室空調設備の導入を必要検討項目として協議を行いました。

第4回は、12月10日(土) 19時より開催します。

〔事務局〕



自治会館の電話番号 011-378-9884

自治会館の電話番号が変更になりましたので、会員及び関係各位にお知らせします。なお、12月末日までは従前の電話番号(385-2063)でも通話ができますが、年明けからは、上記電話番号になります。ご注意ください。

〔事務局〕

見晴台住民数 (令和4年11月1日現在)

男性 2,049人 (前月比 5人減)

女性 2,231人 (前月比 5人減)

合計 4,280人 (前月比 10人減)

〔12月の行事予定〕

1日(木) 自治会だより発行
2日(金) 19:00 運営委員会
3日(土) 8:30 資源回収
8日(木) 10:00 むつみ会 (中止)
9日(金) 19:00 役員会
10日(土) 19:00 会館新改築検討委員会



14日(水) 自治会だより原稿締切
17日(土) 8:30 資源回収
18日(日) 見晴台のつどい (延期)
10:00 自治会だより編集会議
22日(木) 10:00 むつみ会 (中止)
24日(土) 9:00 自治会だよりほか配付

むかし、むかし…その弐(二) “見晴台に古墳が!?”

今回は、前号でお知らせした弥生時代以降のことについて掲載しますが、その前に、先史時代の区分を簡単に確認しておきましょう。

旧石器時代の後、紀元前（BC）1万年前～紀元前3世紀を「縄文時代」と言い、その時代の地層から出土するのが縄文土器です。

その後、本州では稲作文化が伝来し、紀元後（AD）300年までを「弥生時代」と言いますが、米づくりがまだ始まっていない北海道では、縄文時代が続いていました。

本州の「弥生時代」から「古墳時代」と並行して続いた北海道の縄文時代を「続縄文時代」と言います。それは、金属器の伝来で居住環境も変わり、新たな文化を創り出したということで、それまでの縄文時代とは区別して「続縄文時代」と呼ばれます。

「続縄文時代」の次に登場するのは、「擦文（サツモン）時代」と呼ばれる時代です。これは、表面にへら状の道具でこすった擦痕（ハケメ）や刻文の見られる土器が出現することから、そう呼ばれています。擦文土器は、本州の弥生時代の土器の影響を強く受けながら発展し、当初、江別を中心とする石狩低地帯で作られ、その後、道東北部、サハリン南部に広がって行ったと考えられています。また、土器の製造方法ばかりではなく、刀剣類や農耕具などの鉄製品も本州からもたらされています。

日本に稲作が伝わる以前の縄文時代は、狩猟採集経済で、集落も無かったと考えられています。ところが、弥生時代になり稲作技術が伝えられると、人々は一つの土地に定着し、生産性を上げるためにより広い土地を求め、争いも起きます。やがて強い支配者が生まれ、ムラができクニができます。クニの首長の死後は、墳墓＝「古墳」に葬られました。7世紀になると、気温も温暖化し、東北地方北部まで稲作が可能になりました。それに伴い、青森まで古墳が作られるようになりました。さらに、「擦文時代」の私たちの江別にも、古墳（墳墓）が造られていました。



<江別市郷土資料館「江別古墳群」より>

しかし、まだ稲作がされていない北海道の江別で、どうして古墳が造られたのでしょうか？その謎を解くのは、古墳から出土した遺物にあります。

江別の古墳は、昭和初期、後藤寿一氏によって見晴台北端で発見され、その後、昭和55年西インターチェンジ建設で20基以上の古墳群が見つかりました。その副葬品には、土師器（ハジキ）と呼ばれる土器や須恵器、刀、勾玉等が含まれています。これらは、本州との有力者や朝廷との交流があったこと、あるいは有力な移住者がいたのではないかと考えられています。

古墳は、私たちの住む見晴台にある遺跡です。ぜひ、散歩がてら古墳に足を運び、どんな人がこの地に住み、どんな暮らしをしていたのか、想像してみるのも楽しいことですね。

次回は、明治前夜までを予定しています。

〔事務局〕

見晴台新そば交流会開催



11月12日(土)10時から、むつみ会と共催でそば打ちを見学し、新そばを味わう予定の交流会は、新型コロナウイルスの感染者数拡大から中止とすることも検討しましたが、材料等の購入のほか事前準備を進めていたことから、そば打ちの見学は取り止め、自治会館の玄関で受付、配布することにしました。



当日は、8:30から「野幌手舞いそば」の皆さんが自治会館大広間でそばを打ち、むつみ会の皆さんが持ち帰り用に小分けして、来館された方々に本格的な出汁とともに打ち立ての新そばをお持ち帰りいただきました。

また、部員とお手伝いの方が飾り付けをしたツリーは、受付横に展示、鑑賞いただきました。

〔健康福祉部〕



『見晴台のつどい』は開催延期！

先月号で準備中と告知しました『見晴台のつどい』は、当初予定の令和4年12月18日に開催することは、新型コロナウイルス感染者数の状況から難しいと判断し、「年度内を限度に延期」することとしました。

今後、感染状況をみながら開催時期を検討し、時期が決定した段階で再度ご案内します。どうぞよろしくお願ひします。

〔事業推進部〕

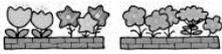
『見晴台キャンドルナイト』 今年度も開催に向けて準備中！

昨年度、新たな行事として開催しました『見晴台キャンドルナイト』は、今年度も2月頃に開催することで準備中です！

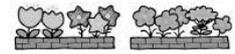
令和4年2月の開催時には、約150世帯の参加がありましたが、今年度も多くの参加をお待ちしています!!



〔事業推進部〕



ご協力ありがとうございました



自治会館の花壇片付けと会館清掃が11月6日(日)9時より行われました。当日は、冬も近づき開始時間を9時からとしましたが、早くから皆さんが作業に参加いただき、早々に花壇も会館もきれいになりました。

〔生活環境部〕



〜〜【事務局から】〜〜〜

雪捨て注意

本格的な冬を迎え、降雪の備えを始める時期となりました。昨年の大雪を考へて色々対策を講じている中、業者と排雪の契約を済ませているご家庭も多いことと思いますが、ここで次のことを確認させていただきます。

- ◎車道に雪を捨てない。
- ◎公園内に雪を持ち込み、捨てない。

※公園は、都市計画で整備されています。江別市都市建設課公園係が管理していますが、公園への雪捨ては認められていません。

送電線の敷地も公園の扱いになっています。公園管理を委託されている会社と契約を結んでいる場合は別として、雪捨てはできません。

公共ゴミ袋の利用

公共ゴミ袋は、公園や空き地、道路の清掃で出たごみの処理に使用できます。各家庭から出されるごみには使えませんのでご注意ください。公共ゴミ袋は、各区の区長が持っていますので、必要な場合は、区長に申し出て下さい。

防犯灯の修理

お住いの近くで防犯灯の不具合を見つけましたら、班長を通し区長に申出ください。防犯灯の故障により修理依頼が増えると、修理まで少々時間はかかりますが、確実に修理します。

年末年始の休館日

12月29日(木)～令和5年1月3日(火)まで休館日
自治会館は年末年始のため休館です。ご注意ください。

12月事務局員駐在日

12月の事務局開設日は、3日、7日、10日、14日、17日、21日、24日、28日の8日間です。

水曜日は午後1時～4時まで、土曜日は午前9時～12時まで、事務局員が事務室に駐在しています。会費納入のほか、自治会活動に関するご意見、ご相談なども受けていますので、気軽にお立ち寄りください。



毎月第1、第3土曜日 資源回収にご協力を!

見晴台自治会集団資源回収収益金報告
11月(5日、19日)分
57,510円になりました。
ご協力有難うございました。